

三菱重工グループは、AGV（無人搬送車）ロボットを活用した新たなソリューション開発に本腰を入れる。自動運転レベル4相当の機能をもつ車載搬送可能なAGVロボット「Stan（スタン）」を開発した仏スタートアップ企業、スタンレーロボティクス社（クレメント・ボサードCEO）と1年前に業務提携。第一弾として自動搬送ロボットシステムを開発を進めてきた。今夏、「酒々井プレミアム・アウトレット」（千葉県酒々井町）の駐車場で実証実験を行い、一

# 有望 新たなビジネスモデル

## 協業通じてさらにロボット進化実感

「協業開始後、初来日  
ボサード氏「日出するが、すべて日仏リモートで

### スタンレーロボティクス社 クレメント・ボサードCEO



## 対談



### 三菱重工機械システム 池田 直昭社長

## 完成車輸送にも期待



車両を自動搬送する「スタン」（今夏実施した酒々井の実証実験にて）

「スタン」の今後の活用も含まれた全点が一つの商品となっている点をいかに理解してもらえらるかポイントだ」

池田氏「ボサードさんが言うように、将来的には車両以外の荷物も運ぶような展開に期待している。ロジスティクス領域も視野に入りたい。三菱重工グループは、われわれの立場を非常に良く理解してくれている。今後、世界にわれわれの製品を展開していく際にも一緒に取り組んでいきたい」

ボサード氏「日本でもこういったニーズがあると信じており、今回の来日は実際にこのニーズを肌で感じ取るのも狙いの一つだ。日本市場の可能性は大きいので、これまでに以上に両社が協力し合い、いかに『スタン』を完成車輸送に役立てるか検討していきたい」

# 完成車輸送にも期待

# 実証実験で「発見」積み上げ

池田氏「2年前、モビリティ分野での新たな製品開発を検討し始めた。当社が培ってきたパーキングシステムのノウハウを生かした付加価値創出を検討した結果、海外で体験したパーキングをロボットで行うサービスに行き着いた。社員がネット上でスタンレー社の取り組みを見つけ、協業に至った。以後コロナ禍の影響で、『スタン』の

ボサード氏「われわれとしては、三菱重工グループだけで実証実験をできるようにツールを提供してきた。このようなプロジェクトでは、現場に入る必要がある。これによりたくさん発見がある。今後も両社が協力することで多くを発見し、より良いサービスを提供していきたい」

ボサード氏「主に作業員不足の解消と生産性の向上で、これは現在の課題になっている。屋内ではAGVロボットが荷物を運ぶことで生産性が向上するとすでに実証されているが、屋外でも同様に可能だ」

ボサード氏「主として作業員不足の解消と生産性の向上で、これは現在の課題になっている。屋内ではAGVロボットが荷物を運ぶことで生産性が向上するとすでに実証されているが、屋外でも同様に可能だ」

ボサード氏「われわれとしては、三菱重工グループだけで実証実験をできるようにツールを提供してきた。このようなプロジェクトでは、現場に入る必要がある。これによりたくさん発見がある。今後も両社が協力することで多くを発見し、より良いサービスを提供していきたい」

ボサード氏「われわれとしては、三菱重工グループだけで実証実験をできるようにツールを提供してきた。このようなプロジェクトでは、現場に入る必要がある。これによりたくさん発見がある。今後も両社が協力することで多くを発見し、より良いサービスを提供していきたい」

ボサード氏「われわれとしては、三菱重工グループだけで実証実験をできるようにツールを提供してきた。このようなプロジェクトでは、現場に入る必要がある。これによりたくさん発見がある。今後も両社が協力することで多くを発見し、より良いサービスを提供していきたい」

# 自動バレーパーキング 大きな反響



日本の現場の意見を重視するボサードCEO

# 車両以外の重量物も視野に

「スタン」の今後の活用も含まれた全点が一つの商品となっている点をいかに理解してもらえらるかポイントだ」

ボサード氏「われわれとしては、三菱重工グループだけで実証実験をできるようにツールを提供してきた。このようなプロジェクトでは、現場に入る必要がある。これによりたくさん発見がある。今後も両社が協力することで多くを発見し、より良いサービスを提供していきたい」

ボサード氏「われわれとしては、三菱重工グループだけで実証実験をできるようにツールを提供してきた。このようなプロジェクトでは、現場に入る必要がある。これによりたくさん発見がある。今後も両社が協力することで多くを発見し、より良いサービスを提供していきたい」

ボサード氏「われわれとしては、三菱重工グループだけで実証実験をできるようにツールを提供してきた。このようなプロジェクトでは、現場に入る必要がある。これによりたくさん発見がある。今後も両社が協力することで多くを発見し、より良いサービスを提供していきたい」

ボサード氏「われわれとしては、三菱重工グループだけで実証実験をできるようにツールを提供してきた。このようなプロジェクトでは、現場に入る必要がある。これによりたくさん発見がある。今後も両社が協力することで多くを発見し、より良いサービスを提供していきたい」

般客から多くの反響を得た。三菱重工グループは今後、「スタン」を活用し、完成車輸送やモータープールでの車両搬送業務など、屋外での重量物搬送領域で新たな用途開拓を目指す。このプロジェクトを推進する三菱重工機械システム（神戸市兵庫区）の池田直昭社長は、このたび初来日を実現したスタンレー社のボサードCEOと対談し、「スタン」の活用で可能な社会貢献の可能性について議論した。（進行役：日刊自動車新聞社）



「駐車が苦手だから、こういうサービスに期待している。広い駐車場で自分の車を探すが大変なのでありがたい。それが評価された。バレーパーキング自体が日本では馴染みがなく、第三者がハンドルを握ることに抵抗感を持つユーザーもいると思われるが、『スタン』の場合は鍵をかけたまま車を預けることができる。今回のユーザーの反応を見ても、自動バレーパーキングが従来なかった新たなサービスになる実感でできた。単なるロボットの提供ではなく、さまざまな使用シーンの提案を含めてサービスとして提供していく新たなビジネスモデルとして期待している。現在、商業施設向けのソフトウェアを開発中で、これを完成させ次第、もう少し規模の大きい実証実験を行いたい」

ボサード氏「これはおめでとうございます。そうすると、その輸送業者だけで相当なロボット数になるのでは」

ボサード氏「この業者は欧州に10カ所の巨大な拠点を保有しているため、その全拠点を順番にわれわれのロボットサービスを納入している。すべてのモータープールに導入すれば合計100台を超えられる」

ボサード氏「完成車輸送業者が『スタン』を導入することになった決め手は何ですか」

ボサード氏「主に作業員不足の解消と生産性の向上で、これは現在の課題になっている。屋内ではAGVロボットが荷物を運ぶことで生産性が向上するとすでに実証されているが、屋外でも同様に可能だ」

ボサード氏「日本でもこういったニーズがあると信じており、今回の来日は実際にこのニーズを肌で感じ取るのも狙いの一つだ。日本市場の可能性は大きいので、これまでに以上に両社が協力し合い、いかに『スタン』を完成車輸送に役立てるか検討していきたい」

ボサード氏「われわれとしては、三菱重工グループだけで実証実験をできるようにツールを提供してきた。このようなプロジェクトでは、現場に入る必要がある。これによりたくさん発見がある。今後も両社が協力することで多くを発見し、より良いサービスを提供していきたい」

ボサード氏「われわれとしては、三菱重工グループだけで実証実験をできるようにツールを提供してきた。このようなプロジェクトでは、現場に入る必要がある。これによりたくさん発見がある。今後も両社が協力することで多くを発見し、より良いサービスを提供していきたい」

ボサード氏「われわれとしては、三菱重工グループだけで実証実験をできるようにツールを提供してきた。このようなプロジェクトでは、現場に入る必要がある。これによりたくさん発見がある。今後も両社が協力することで多くを発見し、より良いサービスを提供していきたい」

ボサード氏「われわれとしては、三菱重工グループだけで実証実験をできるようにツールを提供してきた。このようなプロジェクトでは、現場に入る必要がある。これによりたくさん発見がある。今後も両社が協力することで多くを発見し、より良いサービスを提供していきたい」

ボサード氏「われわれとしては、三菱重工グループだけで実証実験をできるようにツールを提供してきた。このようなプロジェクトでは、現場に入る必要がある。これによりたくさん発見がある。今後も両社が協力することで多くを発見し、より良いサービスを提供していきたい」

ボサード氏「われわれとしては、三菱重工グループだけで実証実験をできるようにツールを提供してきた。このようなプロジェクトでは、現場に入る必要がある。これによりたくさん発見がある。今後も両社が協力することで多くを発見し、より良いサービスを提供していきたい」

ボサード氏「われわれとしては、三菱重工グループだけで実証実験をできるようにツールを提供してきた。このようなプロジェクトでは、現場に入る必要がある。これによりたくさん発見がある。今後も両社が協力することで多くを発見し、より良いサービスを提供していきたい」

ボサード氏「われわれとしては、三菱重工グループだけで実証実験をできるようにツールを提供してきた。このようなプロジェクトでは、現場に入る必要がある。これによりたくさん発見がある。今後も両社が協力することで多くを発見し、より良いサービスを提供していきたい」